

Restek、TriMax 技術採用の次世代 RMX GC カラムを発表



Restek は革新的な TriMax 不活性化処理技術を採用した次世代 GC カラム「RMX GC カラム」を新たに発売しました。本製品はより低い検出下限での分析を可能にし、活性の高い問題化合物を含む分析結果について自信をもって報告できることを目的として開発されています。

RMX GC カラムは厳しい検出感度が求められる高難度なアプリケーションを想定して設計されており、化合物吸着の抑制、感度向上、耐久性改善を高いレベルで実現します。酸性化合物・塩基性化合物・アルコール類など、従来の GC カラムでは対応が難しかった幅広い化合物に対して優れたパフォーマンスを発揮します。

TriMax テクノロジーは極めて不活性で汚染物のない表面を形成し、従来の不活性化技術で問題となっていた残存活性点を排除します。これにより、ピーク形状や再現性を損なう要因を根本から解決します。その結果として、対称性の高いピーク形状、トレースレベルでの高感度、カラム寿命の延長、さらに過酷な温度サイクルや複雑なマトリックスの影響を受けた後でも、分析性能が維持・回復します。

Restek のプリンシパルサイエンティストである Danny Shollenberger は、次のように述べています。

「TriMax 不活性化処理技術は、真に画期的な研究成果です。この技術では、ガスクロマトグラフィー用途のために特別に設計された新規材料を使用しています。最適な材料設計と厳密に制御されたプロセスを組み合わせることで、残留物を大幅に低減し、結合および架橋反応を通じて活性点を不活性化し、高密度で秩序だった三次元構造を形成します。その結果、トレースレベルでの高い信頼性、優れた不活性、そして大幅に延長されたカラム寿命を実現しました。」

また、プロダクトマネジメントディレクターの Ramkumar Dhandapani (PhD) は、次のように述べています。

「TriMax テクノロジーは、極めて不活性で汚染物のない表面を形成し、従来のデアクティベーション技術で問題となっていた残存活性点を排除します。これにより、ピーク形状や再現性を損なう要因を根本から解決します。その結果として、対称性の高いピーク形状、トレースレベルでの高感度、カラム寿命の延長、さらに過酷な温度サイクルや複雑なマトリックスの影響を受けた後でも、分析性能が維持・回復します。」

RMX GC カラムは、高い感度と一貫した性能により、厳格なデータ品質要件をより長期間にわたり満たすことを可能にします。また、対象化合物リストの拡張や、試料抽出のスケールダウンによる溶媒使用量の削減にも貢献します。

広範な化合物に対応する不活性性能、実証された感度、そして高い耐久性を兼ね備えた RMX GC カラムは、ラボの生産性と収益性の最大化を力強く支援します。

— RMX が切り開く、新たな基準—

感度・信頼性・パフォーマンス、そのすべてを次のステージへ
discover.restek.com/ja/RMX

Restek 株式会社
www.restek.com
03-6264-8558

Restekの特許および商標に関する情報は www.restek.com/patents-trademarks までご覧ください。今後のRestekからのお知らせを配信停止する場合やご希望内容を更新したい場合は www.restek.com/subscribe へ。正規のRestek販売代理店や機器チャネルパートナーへのご連絡については、直接お問い合わせください。

© 2026 Restek Corporation. 全著作権所有

GNPR5439-JA